

## 11月15日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●8年前のウクライナのドンバス攻撃の非人道性についての国連の会議を報じるNHK(何度でも見ましょう、最新投稿:2022年10月31日)

※安齋注:この頃は国連も NHK もずっとマシだったのにねえ。今でも「ロシアはいきなり軍事侵攻する前に、国連で訴えるとかすればよかったのに」などという人もいますので、知られていないんですね。「知は力なり」ですが、「無知は時に反人権的である」ということでしょう。

<https://twitter.com/99efe049e058449/status/1585905239596863489?t=y8acyZJTQpbNu5SZtF3WMQ&s=09>



### ●ロシア外務省 穀物輸出合意には問題が残存(2011年11月10日)

ロシア外務省のマリア・ザハロワ公式報道官は、ロシアは穀物輸出合意を延長するかどうかを決定する際、EU が国際市場へのロシアの生産物の参入を阻んでいる事実を考慮すると述べた。「穀物輸出合意のうち、ロシア側の参加の部分では未だに進展がないことを遺憾に思う…。EU はロシアの肥料や農産物の世界市場へのアクセスを妨害し続けている。穀物輸出合意が延長される場合は、この点を考慮する」

ザハロワ報道官は、穀物輸出合意はパッケージ取引であり、この形式を国連のグテーレス事務総長自身が提案したことを指摘した。

ザハロワ報道官はまた、ロシアはウクライナが穀物輸出合意の保証をミンスク合意よりもよりよく履行するよう期待すると述べた。



### ●NATO のストルテンベルグの温暖化の嘆き(2022年11月10日)

イラクで軍事訓練をやっているが 50 度の気温に苦しんでいる。

我々の作戦、戦略、装備、軍服を温暖化による最高気温に合わせ適正化しなければならない。我々の軍隊は温室効果ガス排出削減に向けて努力しなければならない。



## ●G20 のロシア代表団長はラブロフ外相。プーチン大統領はビデオ形式で参加。(2022年11月10日)

G20 サミットにロシア代表団を率いるのはラブロフ氏、プーチン氏はビデオ形式で出席の可能性、在インドネシア・ロシア大使館が発表

[ジャカルタ 10日 ロイター] - インドネシア政府当局者は10日、来週バリ島で開催される20カ国・地域(G20)首脳会議(サミット)にロシアのプーチン大統領が対面参加しないと述べた。

ロシアのラブロフ外相が代理で出席する。プーチン氏はオンラインで会合の一つに参加する予定という。

インドネシア海洋・投資担当調整相の報道官がロイターに明らかにした。

インドネシアはロシアを首脳会議に招待せずG20から追放するよう欧米諸国やウクライナから圧力を受けているが、全てのメンバーの合意がなければそうする権限はないとして抵抗している。

## ●火炎瓶をつくるウクライナの過激派の人々(2022年11月6日)

建物に逃げ込んだ、東部住民を焼き殺す為に火炎瓶を作るウクライナの過激派の人々



## ●ショイグ国防相、ドニエプル以遠の部隊の撤退開始を指示(2022年11月10日)

1 カ月前にロシア軍司令官セルゲイ・スロヴィキン(Surovikin)が約束した「難しい決断」が、実行に移され始めている。水曜、スロヴィキンの報告を聞いたセルゲイ・ショイグ(Sergei Shoigu)国防相は、ケルソンからドニエプル右岸から左岸への部隊の撤退を発表した。この決断のきっかけと、2023年の冬将軍の作戦にどう影響するのか。

11月9日、セルゲイ・ショイグ国防相は、ドニエプル川右岸のケルソンからロシア軍を撤退させるよう指示した。ショイグ氏は、特殊作戦地域(JFO)ロシア統合軍グループ司令官のセルゲイ・スロヴィキン

陸軍大将に対し、「部隊の撤退を進め、人員、武器、装備をドニエプル川を越えて安全に移送するためのあらゆる措置をとること」と指示した。住民 11 万 5 千人の避難が完了し「供給状態が悪い」と言う理由でヘルソンからの撤退をスロヴィキンが希望し、ショイグがこれを承認したようだ。「アメリカのハイマスで攻撃されているダムが決壊した場合のため」という理由も聞かれるが、スロヴィキンは「決断は簡単ではなかった。しかし最も大切なもの(兵の命)は守る事ができた」とも言っている。

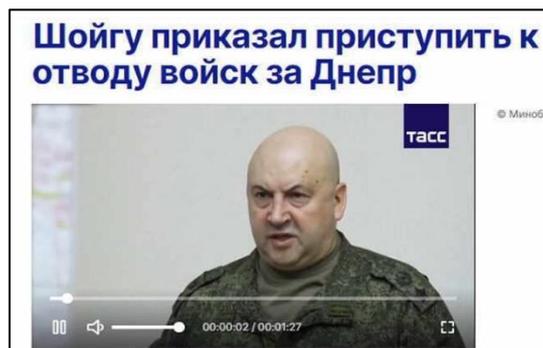
スロヴィキンは報告の中で、軍はドニエプル左岸に工学的に準備された陣地を取るとショイグに言った。スロヴィキン氏は、「部隊の作戦は近いうちに実行されるだろう」と述べ、「ケルソンとその周辺の居住区は、現在の状況では、十分な供給と機能を発揮できない」と説明した。

同将軍は、「砲撃により人命が常に危険にさらされているが、工兵隊が毎日ドニエプル川渡河を復旧し、その機能を維持している」と付け加えた。彼によると、部隊の撤退後、一部の部隊と手段が解放され、「作戦地域の他の方向で、攻撃命令を含む活発な作戦に使用される」という。

「統合された軍隊と勢力の戦闘能力は著しく向上した。我々は、動員された市民や志願兵を犠牲にして、編隊や軍の戦闘力と兵力を増強し、さらに予備軍を創設した」と司令官は述べた。

ケルソンは近年、ロシアと一体化している。9 月 30 日、プーチン大統領は、ケルソン州を含む新たな領土をロシアに含める条約に署名した。9 月 23 日から 27 日にかけて行われた住民投票により、同地域は併合された。

当時、ロシア連邦への編入を支持する有権者は 87.05%だった。ケルソンは、特別作戦の開始から 1 週間後の 3 月 2 日に解放された。



## ●10月、ウクライナ軍は1万2千人以上の軍人を失った(2022年11月10日)

特殊作戦地域の状況は安定していると、合同グループの司令官であるセルゲイ・スロヴィキン陸軍大将は述べた。

軍隊のグループは、ヴレメフスキー(Vremevsky)突出部の地域の防御の深さの支配的な高さを占め、敵は重大な損害を受けている、とスロヴィキンは述べた、と TASS は報告している。

将軍は、ロシア軍がマリンカとペルボマイスキーを解放するための攻撃を展開しており、パヴロフカの解放はユジノドネツク方向で完了していると述べた。

10 月、ウクライナ軍は 12,000 人以上の軍人を失い、約 350 人の傭兵も破壊された。同時に、彼らは人員と装備に大きな損失を被っており、攻撃の試みを放棄した。

ロシア軍は攻撃を再開し、ドネツク方向では、バフムトカ川の右岸で敵の敗退が完了した、と将軍は指摘した。

11月8日、セルゲイ・ショイグ国防相は、ロシア軍合同グループの指揮所を視察し、そこでスロヴィキ

ンの報告を聞いた。



### ●ウクライナ軍:ニコラエフ-クリヴィエリ方面で大きな損失(2022年11月10日)

クピャンスク(Kupyansk)方面のロシア軍は、強化されたウクライナ軍(AFU)自動車化歩兵大隊の攻撃を撃退した。ルハンスク州のクゼミフカ村付近で、ウクライナ軍は 60 人以上の兵士、BMP2 台、車両 5 台を失った。

クラスノ・リマンスキー方面では、外国人傭兵の支援を受けた自動車化歩兵 4 個中隊と戦車 1 個中隊が数回の同時攻撃を試みた。ロシアの大砲、重火炎放射器、陸軍航空隊が敵を阻止し、最初の陣地に追い返した。

ロシア軍はまた、LPR のチェルボノポピフカとステルマキフカ付近で、ウクライナ軍の 2 個中隊戦術グループの攻撃を阻止した。日中、敵はクラスノリマン方面で傭兵を含む最大 100 人の戦闘員、戦車 1 台、装甲戦闘車両 2 台、グラド MLRS 戦闘車両 1 台、ピックアップトラック 3 台を失った。

ドネツク南部方面では、ロシア軍の進撃を遅らせるため、敵が一晩で反撃を試みた。敵に砲撃を浴びせた。

DPR 領域のノボミハイロフカ、パヴロフカ、ヴレメフカ (Novomikhailovka、Pavlovka、Vremevka)の地域では、攻撃部隊が ウクライナ軍(AFU )部隊を分散させ、当初の陣地に押し戻すことに成功した。敵は戦闘機 80 機(安齋注:ホントか?)、戦車 1 台、装甲戦闘車 6 台、車両 3 台を失った。



イゴール・コナンシエンコフ少将

### ●ウクライナ東部・東南部での戦況(2022年11月10日)

ロシア軍は11月9日、ウクライナ東部、東南部の10地域以上で400人超のウクライナ兵士とミサイル、大砲など多種で多くの種類の武器を破壊した。ウクライナ軍の400人損失と言う数字は、10月中の1日当たりの平均損失数に当るもので、一部撤退地域がある中でロシア軍は適時、防御にもあたっている。

### ●秋におけるウクライナ軍の動きの現実(2022年11月8日)

<https://twitter.com/nanpinQD/status/1589969849991987200?t=1M->

[DoOgAGKtVjC2a-adtFA&s=09](#)

これはロシア軍にも当てはまる。天候が敵対行為の行方に大きな影響を与えるため、ロシア連邦軍が大規模な攻撃作戦に移行する可能性のある時期が、地面が凍る 11 月末から 12 月初めとされているのは偶然ではない。



### ●「私にとってゼレンスキーは怪物」(2022年11月10日)

クロアチア人看護師 ドンバスに来た理由を語る。

[https://twitter.com/nanpinQD/status/1590353966952775681?t=h5rwjLiDSk  
WpfVV4948m7Q&s=09](https://twitter.com/nanpinQD/status/1590353966952775681?t=h5rwjLiDSkWpfVV4948m7Q&s=09)



ゼレンスキーは自国民を米国のために大砲の餌として使っています

### ●米軍統合参謀本部議長のマーク・ミリー「今が停戦のチャンスです」(2022年11月13日)

<https://www.youtube.com/watch?v=Bc1dZUdAq8o>

